

科目名	管理会計論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Management Accounting	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	すずき ひとし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	鈴木 寿	修得単位	2単位	
授業のテーマ	公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門としての日商簿記検定1級に準拠し、大学等で専門に学ぶ者に期待するレベルである極めて高度な工業簿記・原価計算を修得する。			
授業概要	今日の企業は持続的競争優位を確保するため、絶えず競争的な価格と品質をもった新製品を開発しなければなりません。それには管理会計的思考が必要となります。本講義では日商簿記1級検定で出題される管理会計の領域を、検定に準拠した形で学習します。特に利益計画、業績評価、意思決定などの数値計算問題を具体的に解説しながら進めていきます。			
到達目標	管理会計情報を利用し戦略の実行、経営資源の最適利用などの支援ができるようになります。			
授業時間外の学習	前回までの講義内容を確認の上、毎回講義に臨むこと。			
履修条件	日商簿記2級レベルの知識があることを前提に授業を進めます。			
授業計画				
第1回	日商1級工業簿記・原価計算で学ぶこと			
第2回	経営管理のための会計情報			
第3回	直接原価計算			
第4回	直接標準原価計算			
第5回	企業予算の編成			
第6回	原価・営業量・利益関係の分析			
第7回	最適セールス・ミックスの決定			
第8回	事業部の業績測定			
第9回	予算実績差異分析			
第10回	差額原価収益分析			
第11回	設備投資の意思決定			
第12回	企業環境の激変に対応する新しい原価計算			
第13回	ライフサイクル・コストニング			
第14回	原価企画・原価維持・原価改善			
第15回	品質原価計算・活動基準原価計算			

第16回	定期試験
テキスト	プリント等を配付し、必要に応じ提示する。
参考文献・資料	日商簿記1級工業簿記・原価計算（よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト Ver.5）TAC 出版
成績評価の方法	定期試験および外部試験結果を含め、総合考慮する <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	授業終了後
学生へのメッセージ	本講義では、多くの日商簿記検定問題を活用して進めていきます。履修した学生諸氏には、積極的に簿記検定を受験し、資格取得を目指してほしいと思います。